

第7回道常総会議事録

日 時 平成20年5月8日(木曜日) 午後8時00分
場 所 東京都千代田区丸の内2-4-1 東京21cクラブ「コラボレーシヨンスペース」
議決権を有する会員総数 35名
本日出席の会員の総数(委任状による出席を含む) 29名(内、委任状14名)

定刻、会長河原春郎は会則第19条の規定により議長となり、開会を宣し、上記のとおり出席があったので、本総会は会則第20条に則り成立していることを述べ、直ちに議事に入った。

決議事項

第1号議案 第7期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)収支決算の件
事務局長は議長に代わって本議案を上程し、別添資料1の貸借対照表、資金収支計算書、収支内訳明細の内容を説明し、本議案の賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認可決された。

第2号議案 第8期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)収支予算の件
事務局長は議長に代わって本議案を上程し、別添資料2の資金収支計算書の計画案の内容を説明し、本議案の賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認可決された。

第3号議案 役員制度の改定の件

事務局長は議長に代わって本議案を上程し、現状の役員制度(会長、副会長、事務局長、監事)を改定し、正会員及びアドバイザーを合わせてパートナーとし、役員を廃止する議案を上程した。

会員より、事務局を円滑に運営するためには世話役が必要であり、西岡郁夫が最適であり、決算の際には監事の業務が必要である旨、意見があった。また反対意見として本会の運営や意思決定のためには代表者が必要であり、河原会長が後任を指名する方法が現実的である旨の意見があった。事務局長は議場の意見が出尽くしたところで、西岡郁夫を世話役に、また決算の際に監事を置くことを議案に加えて本議案の賛否を議場に諮ったところ、出席会員15名の内、賛成8名、反対7名をもって承認可決された。

第4号議案 アソシエイト会員の件

事務局長は議長に代わって本議案を上程した。河原会長からの本議案の趣旨説明に加え、事務局長より議案内容について、本正会員及びアドバイザーによるパートナーの他にアソシエイトを加えて、アソシエイトが中心となり日本のベンチャーたちが置かれている環境・状況を調査し、ベンチャー支援のための課題を明確化した上で主体的に情報発信をしていくことで、本会のバリエーションを図りたいこと、アソシエイトは会費無料とし、定例会への参加も無償とする一方、調査活動に対しては無報酬とすること、アソシエイトの人数を10名程度と想定していること、パートナーの入会条件(45歳以上75歳未満)と整合させて、アソシエイトは45歳未満を条件とした旨、説明を行った。

会員からの意見として、アソシエイトの参加インセンティブをどう設定するかが課題であること、調査テーマを絞った方が進めやすいのではないかとの提案、当初は5

名程度の人員を試行的に選定する提案、調査を進めるに際し、外部機関を上手に活用することが効率的であるとの意見等が挙げられた。また反対意見としては、45歳未満の条件は不要ではないかとの意見が出された。事務局長は議場の意見が出尽くしたところで、本議案の賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって承認可決された。

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および事務局長は次に記名・押印する。

平成20年5月8日

任意団体ベンチャーを支援するベテランの会第7回通常総会

議長 会長

河原春郎



事務局長

西岡郁

